

岐阜県の



土偶（西田遺跡出土・縄文時代後期
岐阜県教育委員会所蔵）

縄文土器からわかること

平成18年6月12日（月）～12月1日（金）



壺（岩内遺跡出土・縄文時代後期
岐阜県教育委員会所蔵）

場所：多治見市文化財保護センター
〒507-0071 多治見市旭ヶ丘10-6-26
Tel.(0572)25-8633 FAX.(0572)24-5033

開館時間：9:00～17:00
土・日・祝日休館 入場無料



有孔罎付土器
（上岩野遺跡出土・縄文時代中期
岐阜県教育委員会所蔵）

主催：多治見市教育委員会
共催：財団法人岐阜県教育文化財団 文化財保護センター

はじめに

縄文土器は、約1万年間に渡って大量に作られ消費された、縄文時代を特徴づける遺物です。その縄文土器は、当時の人々が各自思い思いに作ったものではなく、ある一定の集団の中で文様や形に一定の決まりを持って作られていました。そのため、時期や地域によってそれぞれに特徴があり、その遺跡の時期などを判断する基準にもなるものです。

縄文遺跡からは、その土地の特徴を強く示す土器とともに、他の地域の特徴を持った土器が出土することが多々あります。これは、他の地域の土器が運ばれた、あるいは、土器を作る技術を持った人が移動したということが考えられ、当時の人たちが、他の地域の人たちと交流していたことを示しているといえます。

とくに、岐阜県は「日本のまん真ん中」などと表現されることがありますが、北陸や信州、関東、東海、西日本など周辺地域の特徴をもつ土器がたくさん出土しています。

また、岐阜県内の遺跡からは、新潟県糸魚川産のヒスイや長野県産の黒曜石で作られた製品が出土します。このように縄文時代の日本列島は、石材などの特産物が流通するネットワークがあったことがわかってきています。岐阜県の縄文人たちも、そのネットワークの中で貴重な石材（あるいは製品）を入手していたようです。

石材のような特産物と土器を併せて考えてみることで、縄文人たちが他の地域の人たちとどのようなつながりを持っていたのかが見えてきます。徒歩もしくは川や海などの水路を使つての移動手段しかなかった縄文時代ですが、人々が意外にもダイナミックに動いていたということを、当時の人たちが残したモノから想像していただければ幸いです。

岐阜県内出土の 土器と石材にみる 周辺地域との交流

県内の縄文遺跡からは、周辺地域の影響を受けて作られた土器とともに、限られた地域でのみ産出される石材で作られた石器や石製品が出土します。
飛騨地方と東濃地方の縄文時代中期後半の土器を例に紹介します。



①、②、④、⑤～⑨: 岐阜県教育委員会所蔵
 ③: 中津川市教育委員会所蔵
 ⑤: 恵那市教育委員会所蔵

土器型式（中期後半）と石材について

（※数字は2ページの写真と対応しています。）

①北陸系の土器

縄文時代中期中葉に石川県、富山県及び新潟県西部に分布する「上山田式」に類似する土器です。上山田式の分布域は、ヒスイの原産地である新潟県糸魚川周辺地域が含まれており、ヒスイの流通を考えると重要な土器型式です。

②東日本（信州系）の土器

「唐草文系土器」型式に分類される土器です。唐草文系土器は、長野県諏訪盆地から伊那谷地域にかけて分布する土器型式です。

③東日本系（関東地方）の土器

関東地方に分布の中心を持つ加曾利E式の影響を受けていると考えられますが、加曾利E式と併行する時期に、関東地方西部から静岡県東部、長野県八ヶ岳西南麓に分布する曾利式の影響も見られます。この他、阿曾田遺跡からは、加曾利E式と東海地方の両方の影響が交じった土器も見られます。

岐阜県への東日本からの影響は、東濃地方では加曾利E式が強いですが、飛騨地方では曾利式が強い傾向がみられます。

④東海系の土器

「吹畑式土器」といわれる土器型式です。キヤリバー形の器形と口縁部の渦巻文、胴部の弧線文が特徴です。吹畑式の成立には、関東地方の加曾利E式と西日本の里木式とが関わっていると考えられています。

⑤・⑥西日本系の土器

「里木2式」といわれる土器型式です。「里木2式」は中国・四国・近畿地方を中心に分布します。

⑦ヒスイ：糸魚川周辺のみで産出される石材で、ヒスイ玉に加工され全国を流通します。糸魚川周辺地域では、ヒスイの玉作りを行ったと見られる遺跡が確認されています。岐阜県内の遺跡からも糸魚川原産のヒスイの製品が出土しています。

⑧黒曜石：ガラス質の石材で、石鏃などの石器に加工されます。国内では信州、箱根、伊豆諸島神津島など、いくつかの原産地があり、県内の遺跡からは、長野県の和田峠や霧ヶ峰産などの黒曜石が出土しています。

⑨下呂石：下呂の湯ヶ峰周辺で産出されるガラス質の石材で、石鏃などの石器に加工されます。

縄文時代の時代区分



※縄文時代は、約 12,000 前から 1 万年間ほど続き、その中が草創期から晩期まで 6 期に区分されています。縄文時代の実年代については、近年、科学的な年代測定の精度が進み、始まりが 14,000 年前までさかのぼる、縄文時代と弥生時代の境目が 500 年さかのぼるなどの説も出ています。